

つたざわ



学校教育目標

わくわく学び

いきいき挑戦する

児童の育成

その挑戦が未来を変える

～めあてをしつかりと持つて～

校長 三木寿和

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、子どもたちは元気に三学期をスタートさせています。

元日に大きな災害が発生しました。能登半島地震です。突然、最大震度七の揺れに襲われ多くの人命が失われました。多くの建物が倒壊し、行方の分からない方もまだ多くおられます。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、迅速な救援救助を願うばかりです。被災地域の映像を見ていた時、二十九年前の神戸市の様子を思い出さずにはいられませんでした。阪神淡路大震災後、私は災害ボランティアとして二日間、避難所となっていた神戸市の小学校を訪れました。主な作業内容は、支援物資の分けや配付、生活用水の運搬などです。ボランティアリーダーの方からの指示を受け、作業に取り組んでいました。震災後三週間近く経過していましたが、避難所として活用されている方々を中心に、避難所運営が落ち着いて行われていることや、ボランティアスタッフもたくさんおられたという理由で、リーダーの方から「ここはもういいから、その自転車で乗って、市内の様子を見て回っておいで。」と言っていただきました。まず目に入ってきたのが、炊き出しのためのたき火から出ている煙です。お昼時でもあったので、各小学校の運動場や公園などから煙が立ち上っていました。また、多くの民家の屋根には、雨漏りを防ぐためにブルーシートが固定してありました。大通りへ出たとき、その光景に思わず息をのみました。何車線もある幅の広い道路が大きく陥没し、歩道脇に立つ背の高いすべてのビルが道路の方向に大きく傾き、窓ガラスは割れ、とても危険な状況でした。そんな中、通ることができる車線を車が行き交い、た

くさんの人たちが歩き、すでに新しい街づくりがスタートしていることを感じさせられました。そのときの様子が今もくっきりと目に焼き付いています。多くの人たちが諦めない気持ちを持ち続け、飽くなき挑戦を続けた結果が阪神・淡路地域の復興につながったのだと思います。

本校では、十七日に「一・一七を忘れない集会」を実施します。地震発生時の避難訓練をメインとして、阪神淡路大震災での被害状況、災害に対する備えやその後の対応のことなどについて学習します。併せて今回の能登半島地震のことについても子どもたちの発達段階に応じて話すことができたと思っています。

さて、三学期の始業式の中で子どもたちにも、「挑戦する一年にしよう。」と話しました。私の好きな言葉の一つに「その挑戦が、未来を変える」があります。数年前、この言葉はテレビのCMなどで流れていました。挑戦してみること、去年まで苦手にしていたり、できなかったりしたことができるようになるかもしれない。挑戦してみること、少しだけかもしれない。挑戦してみると一人ひとりの未来はよりよいものに変化すると思います。そして、小さな一人ひとりの挑戦を集めることで、クラスや学校がよりよいものになっていくでしょう。そうすると、世の中にも少しずつ影響を与え、未来が変わっていく。この言葉にはそういう意味が込められていると思います。子どもたちは、失敗を恐れずに「まずはやってみる」という行動力を大切にして、様々な経験を積み上げ、昇龍のごとく、たくましく成長してもらいたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動がよりよいものになりますよう、本年も昨年同様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



共に生きる

防災教育担当

新しい年を迎え、「さあ、今年も一年頑張ろう」と思う間もなく、能登半島で大きな地震が発生しました。テレビから流れてくる映像は、阪神淡路大震災を思い起こし、いてもたってもいられない気持ちになりました。

私たちは、阪神淡路大震災からたくさんの方々と学び、実践してきました。毎年、一月十七日に行う「一・一七を忘れない集会」もその一つです。大きな地震が発生したとき、私たちはどのように避難するのか、どんなことに気をつけるかなければならないのかを、兵庫県が作成している防災教育副読本「明日に生きる」などを使いながら考えてきました。震災は、いつ起こるか分かりません。そのときに備えてどんなことを準備しておくか、良いのでしょうか。非常持ち出し袋の準備、家具の固定、非常食の準備などが挙げられます。また、実際に災害に遭ったときどうするか、具体的な身の振り方をシミュレーションしてみることが大切です。三学期が始まり、すぐに一月十七日がきます。この日は、避難訓練と集会を予定しています。また、各家庭で防災について少し時間をとっていただき、もしもに備えて話をしていただきたいと考えています。

・学校以外の場所で大きな地震にであつたら、どこに避難するか。

・避難所で、自分の名前、住所などが言えるか。
・近所の人たちの顔が分かり、話ができるか。
・避難場所には、多くの人たちが集まります。困ったときに頼りやすいのは、普段から顔を合せてきたときに頼りやすい人。そんな人たちと一緒に頑張りましょう。そんな人たちが、私自身もそうだろうと思います。「明日に生きる」には、子どもからおじいさんおばあさんまで、それぞれがお互いのことを思い合いながら、できることをした話がたくさん載せられています。

今も、能登の被災地では、多くの方が不安と戦いながら過ごされ、助けようと多くの方が尽力されています。私たちは、自分事として捉えながら復興を願い、毎日を大切に過ごしていきたいです。

2月の行事予定

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| 1日(木) 交通立ち番
授業参観日
学級懇談会 | 15日(木) 交通立ち番・安全点検 |
| 2日(金) 放課後チャレンジ塾 | 16日(金) 山崎東中学校体験入学
説明会
放課後チャレンジ塾 |
| 3日(土) アルミ缶回収 | 20日(火) ささゆり号来校 |
| 6日(火) 新入生入学説明会
体験入学 | 21日(水) お楽しみ読書 |
| 7日(水) 学校評議員会
お楽しみ読書 | 22日(木) PTA新旧理事会 |
| 9日(金) 放課後チャレンジ塾 | 23日(金) 天皇誕生日 |
| 11日(日) 建国記念日 | 29日(木) ALT来校 |
| 12日(月) 振替休日 | |
| 13日(火) 集金日・SC来校 | |



1月の行事予定

- 16日(火) ささゆり号来校
SC来校
歯科指導(2・5年生)
- 17日(水) お楽しみ読書
一・一七を忘れない集会
- 19日(金) 放課後チャレンジ塾
- 24日(水) 山崎東中学校区総会
- 26日(金) 外国語指導員来校
放課後チャレンジ塾
PTA本部役員会



月の行事予定

月の行事予定